

## 自治体議員福祉研修

~福祉活動における議員の役割~

【定員】

会場 50名/オンライン 50名

<18目> 令和4年 11月18日(金)

13:30~17:00

<2日目> 令和4年 11月19日(土)

9:30~13:00

防災士研修センター〈九段下研修ルーム〉 東京都千代田区九段南1-5-5 九段サウスサイドスクエア 9F in 東京

【こどもの貧困】 (ディスカッション)



~こども宅食~

講師: 成澤 廣修 東京都文京区長



~こどもの貧困~

講師: 渡辺 由美子

NPO法人キッズドア・理事長



「福祉と住宅」

講師:山本 美香

東洋大学ライフデザイン学部 生活支援学科 教授

月19日土

(金)



ソーシャル・インクルージョンの具体的内容ー一議会・議員の役割」

講師: 青山 佾 明治大学名誉教授 【ヤングケアラー】(ディスカッション)



全国初のケアラー条例を制定して~

講師: 田村 琢実 埼玉県議会議員



・ヤングケアラー支援の課題 と必要な社会的取組み~

講師: 堀越 栄子

一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

受講料(会場・オンライン受講同額)

全2日間 ¥48,000 1日のみ ¥26,000

※防災士資格をお持ちの方は割引料金で受講いただけます。

~次回の開催予定~

第4回 令和5年 2/10(金) 11(土)

防災士研修センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館7階

【共催】

令和防災研究所

TEL (03) 6261-0003 TEL (03) 6261-5180 FAX(03) 3556-5535 jukou1@bousaishi.net FAX(03) 3556-5535 office@reiwabousai.info

## 自治体議員福祉研修プログラム

~福祉活動における議員の役割~

11月18日(金)

13:40~15:10 【こどもの賞画】(ディスカッション)

講師: 成澤 廣修 東京都文京区長

~こども宅食~

いわゆる「こどもの貧困」に対応する手段のひとつとして2017年に文京区で導入された「こども宅食」は、立場の異なる組織(行政、企業、NPO、財団、有志団体など)の協働や「ふるさと納税」による資金調達などの特徴をもっています。この事業の立ち上げから5年が経過した今年、その制度の現状と今後についてお話しいただきます。

講師:渡辺 由美子 NPO法人キッズドア・理事長 ~こどもの貧困~

文京区の「こども宅食」事業の根幹をなす「コレクティブ・インパクト」。主に配送や食品のコーディネートを担う団体「キッズドア」の渡辺代表からその具体的な運営方法と課題についてお話ししていただきます。さらにキッズドアによる「クラウドファンディング」による食料調達活動などこどもの貧困に起因する課題と解決策についてご提案いただきます。

15:20~16:50「福祉と住宅」

講師: 山本 美香 東洋大学ライフデザイン学部 生活支援学科 教授

超高齢化・人口減少・生活困窮といった社会課題に対し、福祉という社会の営みと住宅という建築の両方の面から説き起こします。バリアフリー化、市営住宅の福祉拠点への再編、住宅確保要配慮者に対する居住支援とその推進に携わった「多様な専門家たちの連携」について紹介していただきます。

11月19日(土)

9:40~11:10 「ソーシャル・インクルージョンの具体的内容 - - 議会・議員の役割」

講師: 青山 佾 明治大学名誉教授

ソーシャルインクルージョンとダイバシティーという言葉は、社会のあり方や市民活動そしてビジネスの社会でも多用されるようになりました。反対語である「社会的排除」は危機管理の世界でもテロの原因とされています。ソーシャルインクルージョンは障害者や高齢者だけでなく、貧困による「孤独や孤立」化している子どもや壮年層にまで、その対象を広げています。その具体的内容について論じ、具体的な事例を基に、この社会課題に取り組む指針を提示します。

11:20~12:50 (アングケアラー) (ディスカッション)

講師: 田村 琢実 埼玉県議会議員 ~全国初のケアラー条例を制定して~

「ケアラー条例」は令和2年3月に埼玉県が都道府県レベルでは全国ではじめて施行し、現在約10自治体で制定されています。そのけん引役である田村先生に、議員提案を行った経緯や制定までの具体的な活動内容についてご紹介いただきます。

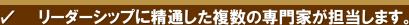
講師: 堀越 栄子 一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事

~ヤングケアラー支援の課題と必要な社会的取組み~

堀越先生が代表理事を務める日本ケアラー連盟は、包括的なケアラー支援に向けて、「ケアラー支援法・支援条例」の制定を目指し、国会や地方議会に働きかけています。今回特に「ヤングケアラー」について、その課題解決の重要性と支援の全国的展開の必要性についてお話しいただきます。







- ケーススタディーとその解決策についてディスカッションを行います。
  - 異業種との知識共有、相互作用効果が期待できます。